



13 番  
中島新吾議員  
(日本共産党)

## 振興事務所を大事にすることが「住民が主人公」のまちづくり

市長は「振興事務所の機能の強化と拡大」を述べられており、必要な職員の配置をするべき。特に課長職の配置を。災害が激甚化しているので市民の命と暮らしを守る体制づくりがどうしても必要。

### ◆市長

今回の災害で振興事務所機能の強化の重要性は認識しており、来年の人事異動には反映したいと思えます。市民皆さまの声を聴くのは基本的には地域の窓口である振興事務所と考えていますし、職員教育の場、広く浅く知識を習得する場でもあると考えています。

## 職員の意欲を活かすための職場環境づくりを

市の組織と職員が市民の命と暮らしを支えている。執行部は職員減や組織のスリム化を進めるといいますが、職員としっかり話し合い労働条件などの改善を推進することが大事。

### ◆総務部長

今年度作成する職員定員適正化計画の中で示していくことになり

ますが、今後は、毎年新卒者を一定数採用するなど、退職者数を考慮しながら、社会人枠やU・Jターン枠で若年層の補充を進めていきたいと考えています。

## 新型コロナウイルス感染症予防と経済活動の元気のための対応

経済の悪化は長期化が避けられない。市民の生活・営業がもちこたえられる支援をしっかりと継続し、感染拡大抑制の体制づくりを、県と連携して強化すること。

### ◆観光商工部長

県や国の制度を注視しながら連携し、必要な市の制度を検討していきたいと考えています。

### ◆健康福祉部長

下呂市は、すでに県担当部署へ新型コロナウイルス感染症患者発症時には協力する旨を伝え、市職員では法的に権限が与えられていない業務もあることから、県と連携強化することとしています。

## 災害での農林業の被災現場の復旧に全力で

住民の離農につながらないように。

### ◆農林部長

土砂流入のあった農地の復旧については、刈り入れが終わるのを待つ順次取り掛かります。被災された耕作者の方にご利用いただく予定の重機借上げ制度については、個人の申請も受け付けています。



5 番  
田中喜登議員

## 下呂温泉合掌村の用途不明金問題について

①会計システムの根本的な見直しと、監査体制を強化する旨の表明がなされているが、現時点で当該部署では現金出納の方法はどのような形で行われているのか。

### ◆観光商工部長

現在、合掌村内の入場窓口と各店舗で現金の取り扱いがありま。各店舗にはPOSレジシステムというレジスターが設置されており、各店舗の売上状況を事務所のパソコンにて管理できるシステムが設置されています。また、その日の売上額は複数の職員により確認を行っています。

②新たな監査体制として、監査課長の配置や、監査課職員の増員等の方針は。

### ◆市長

今後も議会事務局長と監査委員事務局長は密接な関係がありますので、兼務を考えています。監査課長については別に配置します。監査課職員は現在2名ですが、増員の方向で検討します。

③会計管理者と会計課長の兼務についても法的に見て適正を欠いているとの指摘があるが、どのように改善していくのか。

### ◆市長

会計管理者と会計課長も分けま。会計管理者は部長級を考えています。

## 新型コロナウイルス感染症について

①観光産業・製造業をはじめ依然として深刻な状況が続いているが、市として新たな支援事業の計画はあるのか。

### ◆観光商工部長

全国に向けた宿泊クーポン券の発行並びに市民を対象とした平日限定の宿泊割引クーポン券の発行や、WEB上で事業所を紹介する動画を制作するための委託費用の支援を計画しています。

②大学生に対する支援について、市長は前向きに検討していくと前回定例会で答弁されたが、現在どうなっているのか。

### ◆副市長

現時点では、具体的な支援策を打ち出すには至っておりません。下呂市出身の大学生に対する市独自の支援が必要な状況が生じた場合には、速やかに対応することができるよう、大学生を取り巻く課題や国や大学等による支援策を注視したいと考えます。



6 番  
尾里集務議員

**地域を守る防災事業について**

①今年も豪雨による災害が発生したが、復旧に当たっては、原形復旧にとどまらず、再発防止のための改良復旧が必要と考えるが、その計画は。

◆建設部長

原則は原形復旧ですが、今後は事前防災・減災の観点から適応復旧も視野に入れたいと考えております。

②ドローンによる被害状況把握について、今後の検討は。

◆建設部長

市の土木職員にもドローン技術の習得を進めていきたいと考えています。

③災害予防のための砂防堰堤に堆積した土砂除去の実施の考えは。

◆建設部長

県下呂土木事務所で調査・検討されており、市としても、強く要望してまいります。

**下呂温泉合掌村使途不明金問題について**

①下呂温泉合掌村の使途不明金問

題で、不正が行われていた当時の人事管理（個々の職員のスキルに合わせた適材適所の人事異動など）は適正になされていたのか。

◆副市長

合掌村の人事に関しては、当時管理職が2年で異動となっていたことなどで、結果として元職員の在籍期間が長くなってしまったことも要因の一つであると考えます。

②不正が行われていた当時に関係していた退職職員の責任はどう問うのか。

◆総務部長

退職職員からも意見聴取を行っていますが、退職者については地方公務員法等の適用ができないため、懲戒処分等を行うことはできません。

**下呂市に住むみんなのための遊び場の整備について**

①以前、女性有志グループから「旧下呂温泉病院跡地への公園造り」の提案・要望がされているが、その後の対応は。

◆市長

緑地公園側を公園に、駅側については当面、駐車場とする案があります。今後、市民の皆さまのご意見を聞きながらスピード感を持って取り組んでいきたいと考えています。



2 番  
田口琢弥議員

**新型コロナウイルス感染症に対応したゴミ収集・処分に係る防止策について**

6月定例会の一般質問でも取り上げた、下呂市としての在宅療養者等の自宅から排出されるゴミによる収集者の感染防止のためのマニュアルは、作成されたか。また、その内容は。

◆環境部長

収集業者における感染防止対策については、環境省でガイドラインを作成しており、それに従って従事していることから、下呂市独自としてのマニュアルは作成していません。

**一般廃棄物排出用指定ゴミ袋の価格見直しについて**

ゴミ袋の価格見直しは、4年間の任期中に検討したいとのことだが、価格見直しに対する動きはあるのか。

◆市長

市民生活の見直しの象徴の一つとして、ゴミ袋の価格見直しを掲げています。現在は進捗していませんが、担当課で研究しています。価格の見直しに合わせ、ゴミの総

量抑制と市民皆さまの環境問題に対する意識高揚にもつなげたいと思います。

**下呂温泉合掌村使途不明金事件と、新型コロナウイルス感染症に係る今後の対応について**

使途不明金2億6千万円については、市民の皆さまの税金が使われたのか。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国でイベントが中止になっている。観光客誘客のためのイベントなど何か計画しているのか。

◆観光商工部長

使途不明金の2億6千万円については、すべて合掌村へ入場していただいたお客さまからの入場料と施設内にある店舗での売上で、市民の皆さまに納めていただいた税金ではありませんが、下呂市が管理する直営の施設であり、その売上金は公金である事には間違いありません。また、イベントなどの計画は、例年12月に実施していましたが下呂温泉花火ミュージカル冬公演について、密を避けるため1回の公演時間を15分から10分間に短縮し、10月から毎週土曜日の開催など、回数を拡充して、事業内容を見直しての実施が予定されています。

また、11月には下呂交流会館にてエコツーリズム全国大会の開催が予定されており、下呂市を全国に発信し誘客につなげていきたいと考えています。



3 番  
飯塚英夫議員

## 令和2年7月豪雨災害を受けた後の備えについて

① 毎年のように発生する災害のリスクをどうやって最小限に食い止めるのか。公共事業だけに偏ることなく、関係各機関への強力な働きかけなどのソフト面の対策が必要と考えるが、その方向は。

### ◆農林部長

「治山堰堤」と「砂防堰堤」をうまく配置して土石流等による災害のリスクを減らしていかなければなりません。地域からの要望を伺いながら状況を調査し県に対して対策を働き掛けていきます。

② 国道41号の雨量規制緩和、屏風岩改良・門原防災などの事業推進、迂回路としての林道や県道・市道の機能強化、具体的な要望活動や今後の見通しは。

### ◆市長

国にもご努力いただいています。危機感を持って復興に向けて国道41号の強靱化と濃飛横断自動車道の整備を中心に強く要望していきます。

## 技術職員等の適正な配置と育成について

① 豪雨災害の被災地では、土木等技術職員や建設業者らが不足する事態が生じている中、国・県・関係各署との技術的な協議を対等に行わせる職員の育成が必要と考えるが、その方向は。

### ◆総務部長

昨年度、本年度と技術職の職員募集を行いました。応募がありませんでした。市役所内部の取り組みとして土木技術をもった職員の一部集約を行いました。また、職員同士での指導・監督を行うことにより、技術職員の育成と確保に努めていきたいと考えています。今後は、県の農林部門との職員交流や派遣についても検討していきたいと思えます。

② 地域に精通している課長級職員や、経験豊富な技術職員による現場指揮等が直ちに対応できるように各振興事務所の機能強化が必要ではないか。

### ◆市長

振興事務所は地域の窓口であり、浅く広く市民の皆さまから身近な問題を相談できる場所としたいと思っています。ただし、災害時は組織的に動く必要があるため、深く狭くグループで専門性を持っていて臨みたいと考えています。



12 番  
吾郷孝枝議員  
(日本共産党)

## 新型コロナウイルス対策、PCR検査の積極的な拡大を

① PCR検査は感染拡大抑止に不可欠。感染が発生してからではなく、早期発見早期対応をするためにも、検査の積極的な拡大が必要。検査の対象を点から面でとらえ、特に医療・介護・障がい者施設、学校、こども園などで働く人たちが、安心して働けるよう定期的なPCR検査を。

### ◆健康福祉部長

現在、県の行政検査であるPCR検査数は、1日800件が上限ですが1800件の実施を目指しています。検査試薬の増産をはじめ、PCR検査を実施する医療機関の増加や、国の財政支援も必要と考えており、国や県の動向を注視しながら市としての取り組みを検討していきます。

② 無症状感染者であっても自宅療養とはしないでホテルなどの「後方施設に入所」とされている。無症状感染者からの感染が感染ケースの4割を占める中、市の対応は。

### ◆健康福祉部長

新型コロナウイルス感染症は指定感染症であることから、県が医療体制等の整備を行っています。飛騨地域の医療体制については、飛騨保健所が行っており、73床が確保されています。また、医療機関からの退院後に入ることができるよう後方支援施設は高山観光ホテルで、38部屋確保されています。現在、飛騨地域の病院への新型コロナウイルス感染症患者の入院数はゼロです。

### ◆少人数学級の拡充について

① 学校再開で新型コロナウイルス感染症予防と、児童・生徒の学習を保障するため、少人数での学習が望まれている。40人学級では「身体的距離の確保」は困難である。40人学級編成となる小学4・5・6年生、中学2・3年生についても、できるだけ少人数での学習環境が必要では。

### ◆教育長

少人数での学級編成の必要性は感じています。少人数学級の実現には、国による財政的な措置も期待したいところですが、「教員確保」といった大きな課題があることも確かです。人材確保も含めた少人数学級の実現について、県や国に要望を継続していきたいと考えています。



11 番  
一木良一 議員

### 下呂温泉合掌村の使途不明金について

内容は解明できたのか。

#### ◆観光商工部長

この度の事件が発覚した5月16日以来、担当部署にて調査を行ってきました。元職員が観光施設に異動してきた平成23年度から9年間の間に売上等の着服や詐欺が行われていたことが確認できました。総額2億6527万2905円であり、その回数、内訳金額については特別監査報告書のとおりです。現在、全容の解明に向け、刑事告訴を終え、損害賠償を求める民事訴訟を顧問弁護士と相談の上進めています。

### 竹原地区におけるバス運行について(ポランティアバスからデマンドバスへ)

それぞれの運行形態によるメリット・デメリットについて

#### ◆生活部長

地区や区で行うバス運行のメリットは、道路運送法に縛られない運行ができ、「ドアトゥードア」での運行が可能になり、より地域

の方々のニーズにあった運行が期待できます。またデメリットは、運行責任の所在や市等からの支援が少ないことから、事業の持続性等が地域において確保できるかが大変重要な課題になると考えます。

### 小坂町大島1号線拡幅の進捗状況について

墓地の移転代替地の確保と今後の見通し。

#### ◆建設部長

大島1号線の橋工事については、本年度舗装工の施工をもって完成となります。墓地の移転先につきましては、各個人のご判断により移転場所を考えられると思われま。移転補償費については、市として対応したいと考えています。

### 携帯非通信地域の解消について

市内の居住地域における、完全非通知地域の現状は。

#### ◆副市長

移動通信につきましては、居住地域のほぼ全域において、民間事業者による通信サービスが提供されています。場所によって使用できないなどの不感知エリアにつきましては、県を通じて、解消要望を行っているところですが、県や他の市町村とも連携を図りながら、早期の不感知エリアの解消に向けて、事業者に対して要望していきたくと考えています。

## 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

### 第4回【6月25日】

**Q** いきいきサロンについて、今後の開催はどのようになっていくのか。

**A** 会場の確保の関係もあり、現在、方針を検討していますが、できる限り早い時期に再開できればと考えています。

**Q** コロナ禍での避難所の開設について、予防対策を含めどのように行っていくのか。

**A** 今回の補正で予算計上し、パーティションなどの購入を予定しています。県の補助を活用し、衛生資材の備蓄を進めるよう、各地区に周知を図ります。

**Q** 3カ月の臨時休校が終わり、通常の学校生活が始まっているが、現在の学校の状況は。

**A** 欠席も少なく、子どもたちは元気に頑張っています。自分の命は自分で守るという合言葉を全校で徹底し、行事を進めています。

### 第5回【7月31日】

**Q** 市内で感染者および濃厚接触者が発生したことについて、市民メールでの情報提供や同報無線が流れたが詳しい内容ではなかった。市民メールを利用していない

方への周知はどうしているのか。また、濃厚接触者はPCR検査を受けたようだが、その結果はいつ頃わかるのか。

**A** 市民メールやホームページを閲覧できない方へは、声の広報で周知していきたいと考えています。PCR検査の結果はすでに出ていると思われませんが、県の方針として、感染者(陽性)であった場合は連絡が来ますが、そうできなかった場合(陰性)は連絡が来ない仕組みになっています。なお、結果については、飛騨保健所の指導もあり、公表はしておりませんが、今後、どこまで発表できるのか協議してまいります。

### 第6回【9月15日】

**Q** コロナハラスメントについて、他の自治体では感染者の家族に対して、ベテランの保健師を配置し、心のケアや相談を受ける対応をしているところもあるようだが、下呂市の対応は。

**A** 県から市に入る情報は、下呂市男性、〇〇歳としか入って来ないため、個人の特定ができませんし、たとえわかったとしても、職員がその自宅を訪問することはできません。ただし、ご本人やご家族からの申し出があれば対応をさせていただきます。また、ハラスメントについては警察とも連携対応しています。